

2019年、シネ・ピピアは20周年を迎えます。 シネ・ピピアを、これからもよろしくお願ひします。

景山 理(シネ・ピピア支配人)



1999年10月29日にオープンした「シネ・ピピア」は、いよいよ2019年に**20周年**を迎えます。阪神・淡路大震災の復興事業として、宝塚市が設置し、運営は民間に委ねる全国でも珍しい公設民営の映画館としてオープン、震災からの“心の復興”を旗印に、地域コミュニティの、また文化発信の拠点として、皆様に愛される映画館を目指して、ついに待望の20周年を迎えます。

50席2館という小さな映画館でありながら、どの席からも見やすく、スタンダード、ピスタからシネスコまであらゆる映画サイズに対応できるクリアな映像設計、重低音から高音まで再生する迫力溢れる音響設備を備えた全国でも屈指の映画館として建設されました。「安かろう悪かろう」ではなく、都心の映画館と遜色無く、いやそれ以上を目指した理想の映画館づくり、そして人が無情に殺されるようなアクション大作ではなく、心に訴えかける感動作の数々を上映しようと運営してきました。

この10月に、遂に**有料入場者100万人**を達成出来たことは、皆さまのご来館、ご支持があったからこそと、深く感謝申し上げます。50席の映画館が100万人!そんな夢のような数字を開館当時は想像することだに出来ませんでした。こつこつ、ゆっくり…まるで『人生フルーツ』のような歩みの積み重ねが、今につながったかと思っております。

実際、「山あり谷あり」の20年でした。

まず、映画を取り巻く状況の変化があげられます。当館のような小規模映画館はすっかり姿を消し、シネコン(たくさんのスクリーン数を持つ複合映画館)全盛の時代を迎えました。お隣西宮に巨大シネコンが誕生した2008年には一挙に30%もの

観客数の減少、翌年さらに30%ダウンという事態になり、閉館の危機に襲われました。さらに、2010年を過ぎて映画がデジタル化されるようになり、それを上映するための高額なデジタル映写機を導入しないと新作は上映できないという泣き面にハチのWパンチの事態となりました。

かかる事態に対応しようと、集客の少ないレイト上映は中止、シネマ、カフェのスタッフを減らし、現在のような少人数での運営に移行しました。またデジタル映写機も宝塚市の支援で導入でき、最低の動員数だった2010年からわずかながら年々動員数がアップする回復基調となっています。さらに、昨年には、老朽化した館内設備を一新。2館全座席の取り替え、チケット券発機も最新の機種を導入するなどのリニューアル工事を行ない、皆さまの映画館として、今後も上映し続ける態勢作りを行なったところです。

その上での20周年を迎えることが出来たのです。

現在、シネコンでは作品ごとにスクリーンのサイズを変えない同一画面になっていますが、当館では作り手の創造行為である**サイズを実直に守る**ようスタンダード、ピスタ、シネスコに合わせた上映を行なっています。また大音響を楽しんでいただく**音量アップ上映**を昨年から行なうなど、小さな映画館ならではのきめ細やかな運営を行っています。また、カフェでは、いつでも新鮮なコーヒーをお飲みいただきたいとドリップでお出ししています。映画をお待ちのお客様に向けて、**シネマフロアに2000冊にのぼる映画書・パンフレット**を配置。テラスには四季折々のお花を楽しんでいただく、ささやかながらガーデニングを行なうなど、ゆったりとした時間を過ごしていただきたく取り組んでおります。これからも皆さまに愛される映画館であるよう、新たに決意しているところです。

さて、この20年で上映してきた作品は、1万本以上にのぼります。

当館で最大のヒット作は、2011年の宝塚が舞台の『**阪急電車 片道15分の奇跡**』でしたが、今年、最大のヒット作品はカンヌ国際映画祭で最高賞のパルムドールに輝いた是枝裕和監督の傑作

『**万引き家族**』でした。

これまでも是枝監督は、親から置き去りにされた子どもたちを描いた『誰も知らない』、取り違えられた子供を巡る2つの家族の物語『そして父になる』、母親の異なる姉妹たちを描く『海街diary』など、さまざまな「家族のかたち」を描き続けています。本作では、都会の片隅で万引きなどの犯罪で食いつなぐ一家が、貧しいながらも幸せな日々と過酷な現実、血のつながりを超えた家族の絆を描く、まさに枝監督の集大成というべき作品でした。

来年はカトリーヌ・ドヌーヴ、ジュリエット・ビノシュ、イーサン・ホークら世界の大スターという豪華出演陣で、国境を越えた家族のかたちを描くという是枝監督。もちろん、シネ・ピピアで上映したいと思っています。ご期待ください。

また、『人生フルーツ』のあのナレーションも懐かしい、樹木希林さんが今年亡くなられました。『万引き家族』での樹木さんの演技は絶妙でしたし、是枝監督とは『歩いても歩いても』『そして父になる』『海街diary』『海よりもまだ深く』など、数多くの作品に出演。なくてはならない存在でした。

11月末から、その**樹木希林さんを偲んで『あん』『人生フルーツ』『わが母の記』『東京タワー』、そして『万引き家族』もアンコール上映**します。ぜひご覧ください。

これからも、映画ファンはもとより、年配の皆さま、主婦、女性やお子さまなどに安心・快適に映画を楽しんでいただけるよう、アクションやブロックバスター(超大作)映画より、**いつまでも心に残る感動作、人生に大きな励みとなる作品**をお届けするよう上映してまいります。

私たちの当館存続の態勢作り以上に、皆さまのご支持とご来館がなければ、映画館の存続は成り立ちません。

今後とも、地域なくてはならない市民の皆さまの拠り所として運営してまいりますので、今まで以上のご来館を賜りますよう、どうかよろしくお願ひいたします。



EVENT
INFORMATION

- 12/9(日) 親子で作る クリスマスのランチプレートとデコレーションケーキ☆
- 12/16(日) ピピアめふこどもアニメ教室
- 12/16(日)・1/20(日) ピピアめふアニメーション教室
- 1/20(土) 第22回ピピアめふこども将棋大会
- 1/27(日) 第107回 めふ乃寄席

ピピアめふ1 大規模修繕工事のお知らせ

工事期間:平成30年11月下旬 ~ 平成31年3月末日
(天候等により変更する場合があります)

ピピアめふ1施設内の店舗・公益施設・映画館等は通常どおり営業しております。工事期間中、ご迷惑・ご不便をお掛け致しますが、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

